

3 助動詞

❖ 基本問題 ❖

→p.27

- 1 (1) can (2) is able (3) cannot[can't]
(4) Can (5) Can[May] (6) Can[Will]
- 2 (1) May[Can] (2) may[can] (3) may
- 3 (1) ウ (2) エ (3) イ (4) ア (5) ア
(6) イ

- 解説** 1 (1)(2)「～することができる」は can, または be able to ～で表す。
- 2 (1)(2)「～してもよい」と許可を表すときには may[can]を使う。
(3) may には「～かもしれない」という意味もある。
- 3 (1)(2)「～しなければならない」は must, または have[has] to ～で表す。
(4) must には「～にちがいない」という意味もある。

❖ 基本問題 ❖

→p.29

- 4 (1) Will[Can] (2) Will[Can] (3) right
(4) Will (5) thank you (6) Please
- 5 (1) ウ (2) ア (3) イ (4) エ
- 6 (1) should (2) should not (3) Would
(4) Would, like[Will, have] (5) would like

- 解説** 4 (1)(2)「～していただけますか」は Will [Can] you ～? で表す。
(6)「～してください」は Please ～. Will you ～? とほぼ同じ意味を表す。
- 5 (1)「～しましょうか」と提案するときは Shall I ～? を使う。
(3)(4)「～しませんか」と勧誘を表すのは Shall we ～?. 答えの文では let's を使う。
- 6 (3)「～していただけますか」とていねいに依頼するときは Would you ～? を使う。

❖ 標準問題 ❖

→p.30~p.31

- 1 (1) can speak (2) may be (3) must get
2 (1) Will[Can] you (2) Will you (3) Shall I
(4) Shall we
- 3 (1) should (2) should not (3) Would, like
[Will, have] (4) I'd like
- 4 (1) エ (2) ア (3) ウ (4) イ
- 5 (1) can (2) have to (3) must
(4) mustn't (5) Shall we
- 6 (1) わたしの母は自動車を運転することができません。
(2) このアルバムを見てもいいですか。
(3) あしたは寒いにちがいません。
(4) わたしはきょうこの本を読まなければなりませんか。
(5) 駅までの道を教えていただけませんか。
- 7 (1) You must not be noisy
(2) don't have to wait for us
(3) Shall I carry your bag to
(4) I'd like to play tennis with
(5) Would you like another glass of

- 解説** 1 (2)「～かもしれない」は may. あとには動詞の原形なので, is を be にする。
- 3 (1)(2)「～すべきである」は should. (2)は否定文なので, うしろに not を置く。
(4)「～したいのですが」は would like to ～. 空所の数から I would を短縮形にする。
- 4 (1) Must I ～? に対する否定の答えは No, you don't have to.
- 5 (3)「～しなさい」を表す命令文は, You must ～. とほぼ同じ意味を表す。
(5)「～しましょう」を表す Let's ～. は Shall we ～? で書きかえられる。
- 7 (1)「騒がしくしている」は be noisy. これを You must not のあとに続ける。

❖ 発展問題 ❖

→p.32~p.33

- 1 (1) ウ (2) ア (3) イ (4) ア
- 2 (1) Please lend (2) Shall we go
(3) has to (4) You mustn't

読解問題 1

→p.34~p.35

- 1 (1) ① オ ⑤ ア
(2) Could you come to the festival?
(3) ③ did ⑥ looking
(4) (例) あなたはチケットを買う必要はありません。
(5) エ
- 2 (1) ウ (2) What does a reporter do?
(3) ② 多くのことをしなければならぬ
⑥ 正確でなければならない
(4) 1. went to, newspaper company
2. called some people
3. make, small mistake

- 解説** 1 (1) ①ジェニーは歩に今度の日曜の予定を聞いているので, 歩を何かに誘おうとしていることが分かる。
⑤ジェニーが10時に映画祭が始まると言ったあと, 歩は「映画を楽しみにしている」と言っているのだから, 歩は映画祭に行こうとしていることが分かる。11行目でジェニーは歩にチケットを渡しているのだから×。

- 全訳** ジェニー：今度の日曜日に予定がある？
歩：ううん, 今度の日曜日はすることがないよ。
ジェニー：わたしたちのクラブが映画祭を開く予定なの。わたしたちはそのために映画を何本か作ったわ。それらは短いけれど, とてもおもしろいのよ。そのお祭りに来てくれる？
歩：もちろん。ほくはどこで映画を見られるの？
ジェニー：あなたは文化ホールでそれらを見ることができるわ。
歩：へえ, わかったよ。きみは何本の映画を作ったのかな？
ジェニー：わたしは3本の映画を作ったわ。そのうちの1本はわたしたちの学校生活に関する映画だから, それの中でわたしたちの友達を見られるわよ。
歩：本当に？ ほくはそれを見たいな。チケットはいくらかな？
ジェニー：あなたはそれを買う必要はないわ。はい, どうぞ。

- 3 (1) My friend had to stay home all day
(2) You should not eat anything before dinner.
(3) Shall I show you the way to the library?
(4) Jim will have to take care of the dog.
- 4 (1) Will you (2) Must I (3) Shall we
- 5 (1) Can you take me to the restaurant?
(2) may I ask you some questions
(3) don't have to get up
(4) You mustn't go to bed without turning off
- 6 (1) We could[were able to] see[look at] a lot of[many] stars last night.
(2) You will be able to swim well soon.
(3) That student must be Koji's brother.
(4) You should be quiet in the classroom.
- 7 (1) (例) Can[May] I use your computer?
(2) (例) Would you like some cake?

- 解説** 1 (4)「あなたは外出してもよいですが, 6時までに帰宅しなければなりません」。「～しなければならない」を表す have to を選ぶ。
- 2 (2) How about ～ing? は「～してはどうですか」で Shall we ～? で書きかえられる。
(4) Don't ～. は「～してはいけません」。
You mustn't ～. で書きかえることができる。
- 3 (1)「～しなければならない」は had to のあとに動詞の原形を続ける。
(3)「～しましょうか」は Shall I ～? で表す。「～への道」は the way to ～。
- 4 (3) 答えの文で let's を使っているのだから, 疑問文は Shall we ～?.
- 5 (4)「あなた(たち)は電気を消さないで寝てはいけません」という文にする。You mustn't で文を始める。
- 6 (2) can の未来は will be able to ～。
- 7 (1)「～してもよいですか」と許可を求めるときは, Can I ～? を用いる。May I ～? としてもよい。
(2) 相手にものを勧めるときは Would you like ～? 「～はいかがですか」を用いる。

歩：どうもありがとう。きみは優しいね。
ジェニー：わたしたちのお祭りは10時に始まるわよ。

歩：わかった。ぼくは10時までに文化ホールへ行くよ。きみの映画を見るのを楽しみにしているよ。

ジェニー：あなたが楽しんでくれるといいな。

解説 ② (4) 1. 「美咲は記者の仕事について学ぶためにどこへ行きましたか。—彼女は新聞社へ行きました」 2. 「佐藤さんは美咲があとを追ったとき、情報を集めるために何をしましたか。—彼は数名の人に電話をしました」 3. 「佐藤さんはなぜ記事を何度も何度も確認したのですか。—なぜなら彼はほんの小さな間違いをすることもできなかったからです」

全訳 送信者：美咲
「今日のわたしのニュース」

こんにちは、ジェニー。

わたしはあなたに伝えることがあります。今日、わたしは記者の仕事について学ぶために新聞社を訪れました。わたしは9時から5時まで記者のあとを追って彼を見てきました。彼の名前は佐藤さんです。

午前中、佐藤さんは「記者は何をするでしょう」とたずねました。わたしは「記者は記事を書きます」と答えました。彼はわたしにただほほ笑みしました。それから、彼は情報を得るために数名の人に電話をしました。彼は記事の写真を選びました。彼はほんの小さな間違いをすることもできないので、記事を何度も何度も確認しました。彼はほかの記者と新聞のレイアウトについて話し合いました。一日の終わりに、彼はまた「記者は何をするでしょう」とわたしにたずねました。わたしは「記者は記事を書くために多くのことをしなければならぬと思います。記者はニュースを伝えることに正確でなければなりません」と答えました。彼はわたしにほほ笑んで、「それを聞いてうれしいです」と言いました。

オーストラリアでは高校生は仕事について学ぶために会社を訪問しますか。わたしに返事をください。

あなたの友達、
美咲

4 文構造(文型)

◆ 基本問題 ◆

→p.37

- ① (1) 1 / とてもじょうずに歌います
(2) 2 / 先生になりました
(3) 3 / きのう野球をしました
- ② (1) showed him my album
(2) gave this book to me
(3) bought Yumi a CD
(4) cooked breakfast for us
- ③ (1) call (2) named (3) made (4) kept
- ④ (1) call him Taku (2) named her son Bob
(3) made them happy
(4) found the book difficult

- 解説** ① (1) (V)はsings。very wellは修飾語。
② (1)(3) 第4文型。動詞のあとは<(人)+(物)>の語順にする。
③ (4) 「～を…にしておく」はkeep。「～にしておきました」なので過去形にする。
④ 第5文型は動詞のあとは<(O)+(C)>の語順にする。
(4) (O)はthe book, (C)はdifficult。

◆ 標準問題 ◆

→p.38~p.39

- ① (1) lives (2) looks young
(3) plays tennis
- ② (1) to her (2) us English (3) for me
(4) him my dictionary
- ③ (1) call, cat (2) kept, warm
(3) leave, open (4) made him angry
- ④ (1) C (2) O (3) C (4) O
- ⑤ (1) イ (2) ウ (3) エ (4) オ (5) ア
- ⑥ (1) その音楽を聞いたとき、わたしは悲しく感じました。
(2) わたしにコーヒーを1杯持ってきてください。
(3) トムはきのう美しい花をルーシーにあげました。
(4) わたしの母はいつも台所をきれいにしています。

(5) あなた(たち)は夜に窓を開けっ放しにしておくべきではありません。

- ⑦ (1) It is getting dark
(2) you show your passport to me
(3) She cooked *sukiyaki* for us.
(4) He'll lend you his bike.
(5) This magazine made me happy.
(6) We call that boy Kazu.

解説 ① (2) 「～に見る」はlook。第2文型。

- ② (1) <send + (人) + (物)>は<send + (物) + to + (人)>に書きかえられる。
(2)(4) 第3文型を第4文型に書きかえる。動詞のあとに<(人)+(物)>の語順を続ける。
(3) buyは第3文型では<(物)+for+(人)>を続ける動詞。
③ (3) 「～を…のままにしておく」はleaveを使う。「開いている」はopen。
④ (1)(3) 第5文型で下線部は補語。
⑤ (1) 第2文型, (2) 第5文型, (3) 第1文型, (4) 第4文型, (5) 第3文型。
⑥ (1) feltはfeelの過去形。「～とを感じる」を表し第2文型で使う。
⑦ (2) 第3文型。showのあとは<(物)+to+(人)>の語順にする。

◆ 発展問題 ◆

→p.40~p.41

- ① (1) ア (2) ウ (3) ア
- ② (1) call Megumi[her] (2) teaches us
(3) me that box (4) made her sad
- ③ (1) My brother became a famous soccer player.
(2) Emi made Lucy Japanese food.
(3) Listening to music makes me happy.
(4) What do you call this animal in English?
- ④ (1) It got[became] (2) feel sleepy
(3) made us surprised
(4) found math important
- ⑤ (1) looked nice in that dress
(2) Will you give me some
(3) her smile makes us happy
(4) Who taught music to you last

- ⑥ (1) Your plan sounds interesting.
(2) She sent a[one] card to her daughter.
(3) My grandmother bought me a guitar [a guitar for me].
(4) You must[have to] keep your hands clean.

⑦ (例) What do you call your father?

解説 ① (2) 「…(物)を」を示す目的語が代名詞のときは、<(物)+to[for]+(人)>にする。

- ② (2) 「池田先生はわたしたちに日本語[国語]を教えます」。動詞のあとの「人」が代名詞のときは目的格なので、ここではusを用いる。
(4) makeを使って、「その映画は彼女を悲しませました」という文にする。
③ (3) 「音楽を聞くこと」はlistening to music。
④ (3) 「トムの話はわたしたちを驚かせました」と考える。
(4) 「～が…とわかる」はfindを使う。
⑤ (4) 2語余るのでtoを使い、taught以下は<(物)+to+(人)>の語順にする。
⑥ (2) 7語なので第3文型で表す。<send+(物)+to+(人)>の形を使う。
⑦ 「～を…と呼ぶ」はcall ~ ...で表す。ここでは「～を何と呼んでいるか」と質問する文を作るので、What do you call ~?の形にする。

5 受け身(受動態) (1)

◆ 基本問題 ◆

→p.43

- 1 (1) learned (2) built (3) sold (4) drunk
(5) bought (6) eaten (7) fought (8) cut
(9) taken (10) broken (11) fallen
(12) sung
- 2 (1) エ (2) ウ (3) イ (4) ウ
- 3 (1) was (2) were (3) written (4) read
- 4 (1) is not (2) not found (3) Was, painted
(4) Were they / weren't

- 解説 1 (1)は規則変化の動詞。(8)は原形と過去分詞が同じ形の動詞。
- 2 (3)(4) 主語が単数か複数かに注意して、動詞に is か are のどちらが必要かを判断する。
- 4 (1)(2) 受動態の否定文は (be 動詞 + not + 過去分詞)。
(3)(4) 受動態の疑問文は be 動詞を文頭に出す。

◆ 標準問題 ◆

→p.44~p.45

- 1 (1) closed (2) driven (3) made
(4) caught (5) cleaned (6) read
- 2 (1) is read by (2) are seen
(3) is sung by (4) are taken by
- 3 (1) was used by Akira a week ago
(2) was written by my brother yesterday
(3) were broken by the strong wind last night
- 4 (1) This dictionary isn't used by my brother.
(2) These watches weren't made in Japan.
(3) Is this mountain climbed by many people?
- 5 (1) is studied[learned] (2) are spoken
(3) was washed (4) weren't written
(5) Was, broken by
- 6 (1) 世界のたくさんの人々に読まれています
(2) 5年前おじによって建てられました
(3) わたしの父によってとられたのではなくありませんでした

(4) 日本で作られたのですか

- 7 (1) is liked by my friends
(2) I was introduced to
(3) aren't used by the students
(4) Is this book written

- 解説 1 (1)(5)は規則動詞なので、-(e)dをつければ過去分詞になる。
- 2 主語の単数・複数に注意して、be 動詞(is, are)を使い分ける。
- 3 過去の受動態における be 動詞は、主語が単数なら was に、複数なら were になる。
- 4 受動態の否定文なら (be 動詞 + not + 過去分詞) で表し、疑問文なら be 動詞を文頭に出す。
- 5 文が現在形か過去形か、主語が単数か複数かに注意して、be 動詞(is, are, was, were)を使い分ける。
- 6 (4) by ~がない受動態。

◆ 発展問題 ◆

→p.46~p.47

- 1 (1) ウ (2) ウ (3) エ (4) ウ (5) エ
- 2 (1) isn't spoken (2) closed (3) was, built
(4) was planted (5) wasn't sung
(6) was[were] found
- 3 (1) is written in easy English
(2) It was made by my brother.
- 4 (1) This novel is loved by many people
(2) This book was written by a teacher at our school.
(3) This TV program is not watched by young people.
(4) Is a lot of fruit sold at the store near your house?
(5) When was the park in your city cleaned?
- 5 (1) The dictionary is used by my brother every day.
(2) Many kinds of plants are[can be] seen in summer.
(3) Computers aren't sold at[in] this store.
(4) Was his watch found at the station?
(5) How many languages are spoken in your country?
- 6 (例) French and English are spoken in

Canada. / Australia is known for its beautiful sea. / Rupee is used in India.

- 解説 1 (3) 文末に last night があるので過去形の文。主語が複数で疑問文なので、I Were を選ぶ。
- 2 (1) 「英語はこの国では話されていません」という文にする。
(2) 「開けません」を「閉められています」と考え、be closed で表す。
(3) 「建てられてから何年ですか」を「いつ建てられましたか」と考える。
(6) what はふつう単数扱いだが、話し手が複数を意識して質問することもある。そのため were も解答としては可能。
- 4 (4) 「たくさんのくだもの」は a lot of fruit で表す。ここでは fruit は数えられない名詞なので、単数扱いとして be 動詞は is を用いる。
- 5 (5) 「いくつの言語」は how many languages で表す。
- 6 「~されている」は (be 動詞 + 過去分詞) を用いて表す。French and English は複数なので、be 動詞は are にする。speak 「話す」の過去分詞は spoken。know 「知る」の過去分詞は known。

6 受け身(受動態) (2)

◆ 基本問題 ◆

→p.49

- 1 (1) was given / were given
(2) was bought (3) is called
(4) Was, named
- 2 (1) in (2) at (3) of (4) from
- 3 (1) can be (2) will be (3) must be

- 解説 1 (3)(4) SVOC の文の受動態は目的語を主語にする。補語の位置は変わらない。(4) は疑問文なので be 動詞で文を始める。
- 2 (1) 「~に興味がある」= be interested in ~
(2) 「~に驚く」= be surprised at ~
(3) 「~でできている」= be made of ~
(4) 「~から作られる」= be made from ~
- 3 助動詞を使った受動態は (助動詞 + be + 過去分詞) の形にする。

◆ 標準問題 ◆

→p.50~p.51

- 1 (1) were shown[showed] (2) is cooked
(3) Are, taught (4) is called
(5) named Mark
- 2 (1) from (2) with (3) in (4) of
(5) to (6) at
- 3 (1) will be finished by ten
(2) The moon can be seen
(3) English must be spoken
- 4 (1) was born (2) were injured
(3) were excited
- 5 (1) 生徒たちは鈴木先生にその物語を話されました。
(2) その辞書はわたしのために母によって買われました。
(3) この花は英語で何と呼ばれていますか。
(4) ナンシーはその誕生日プレゼントが気に入りました。
(5) 報告書は明日までに書かれなければなりません。
- 6 (1) We were given this bike
(2) The racket was not lent to Mike

- (3) Our cat was named Cathy
 (4) was filled with the children
 (5) The new teacher will be liked

●
解説 ① (1) SVOOで「人」を主語にした受動態は、主語のあとに〈be動詞+過去分詞+(物)〉を続ける。

- ② (2) be covered with ~ = 「~でおおわれている」
 (4) 製品である「机」に材料の「木材」の形が残っているので of を選ぶ。
 (5) be known to ~ = 「~に知られている」
 ④ (1) 「生まれる」 = be born
 (2) 「けがをする」 = be injured
 (3) 「わくわくしている」 = be excited
 ⑤ (5) 〈must be + 過去分詞〉は「~されなければならぬ」という意味を表す。
 ⑥ (2) SVOOで「物」を主語にした受動態の否定文。主語の the racket のあとに〈be動詞 + not + 過去分詞 + to + (人)〉を続ける。

◆ 発展問題 ◆

→p.52~p.53

- ① (1) ウ (2) エ (3) イ (4) ウ
 ② (1) will be used (2) can be seen
 (3) interested in
 ③ (1) I am pleased with it.
 (2) A watch was given to me
 ④ (1) The little cat was brought (to) me by Ken yesterday.
 (2) Some dresses were made for me by Miki last month.
 (3) This bird is called *hibari* in Japanese.
 ⑤ (1) Butter is made from milk.
 (2) The street was filled with cars.
 (3) Yumi's father is known to many people in our town.
 (4) The people in the concert hall were excited at that time.
 ⑥ (1) This book was given to me by my grandmother.
 (2) Mr. Smith's daughter was named Mary by a famous writer.
 (3) What is this fish called in

- (4) A lot of people were killed in the war.

- ⑦ (1) I was shown[showed] some English books by Kate.
 (2) A nice camera was bought for Jim by his uncle.
 (3) The name of the city is known to everybody[everyone].
 ⑧ (例) Rumi is taught English by Tom. / Masao is called Masa by his friends. / Emi is interested in history.

●
解説 ① (2) 「チーズ」に「牛乳」の形が残っていないので from が適切。

- ② (3) 「彼女は映画に興味がありました」という文にする。be interested in ~ を使う。
 ③ (2) 「腕時計がおばによってわたしに与えられました」。主語は a watch。
 ④ (3) SVOC の受動態。主語のあとに〈be動詞 + 過去分詞 + 補語〉を続ける。
 ⑤ (1) milk は butter の原料なので of は誤り。正しいのは from。
 (4) exciting は「わくわくさせる」。「わくわくしている」は excited。
 ⑥ (3) 「何と言いますか」を「何と呼ばれていますか」と読みかえて、受動態で表す。be動詞が必要。主語が this fish で現在の文なので is を補う。
 ⑦ (2) 「すてきなカメラ」を表す a nice camera を主語にする。
 ⑧ 「トムに英語を教わる」は、SVOOの受動態を用いて be taught English by Tom とする。「友達からマサと呼ばれる」は、SVOCの受動態を用いて be called Masa by one's friends とする。「~に興味がある」は be interested in ~。

受け身の総整理

◆ 受け身の総整理 1 ◆ →p.54~p.55

- ① (1) ウ (2) イ (3) エ (4) エ (5) ウ
 ② (1) are washed (2) was given
 (3) Was, broken (4) is spoken
 (5) was, made
 ③ (1) weren't taken (2) was, built
 (3) surprised at (4) was born
 ④ (1) The window was closed by my sister.
 (2) Sugar is sold at that store (by them).
 (3) This computer isn't used by Keiko.
 (4) Were these pictures taken by your father?
 (5) The student is called Meg by us.
 (6) 1. We were shown[showed] the new dress by Nancy.
 2. The new dress was shown [showed] (to) us by Nancy.
 ⑤ (1) 英語は多くの国で教えられています。
 (2) 彼(女)らはきのう、パーティーに招待されませんでした。
 (3) マイクのお父さんは日本文化に興味があります。
 (4) 公園は毎日そうじされなければなりません。
 ⑥ (1) of homework was given to
 (2) daughter was named Mika by him
 (3) Many birds can be seen in
 (4) The ground is covered with

●
解説 ① (5) 「家」には「木材」の形が残っているので、材料からできていることを表す be made of ~ という形にする。

- ④ (6) SVOOの受動態。「わたしたち」と「新しいドレス」を主語にして受動態の文を作る。
 ⑤ (2) invite ~ to ... = 「~を…に招待する」
 ⑥ (3) 助動詞の can があるので、〈can be + 過去分詞〉の語順にする。

◆ 受け身の総整理 2 ◆ →p.56~p.57

- ① (1) eaten (2) drawn (3) grown
 (4) found (5) brought (6) caught
 ② (1) エ (2) ア (3) オ (4) ウ (5) イ
 ③ (1) is closed (2) must be used
 (3) Were, injured
 ④ (1) was born (2) were cut
 (3) are taught (4) known to
 ⑤ (1) The children were taken to the amusement park by Emi.
 (2) Some tennis balls were bought for Koji by Akira.
 (3) What is this fruit called in English?
 (4) The dog was named Shiro by the students.
 ⑥ (1) What language is spoken in Australia?
 (2) A lot of people were killed in the accident.
 (3) Yumi was given a new guitar by her father.
 (4) Two pretty dolls were bought for Miki by her grandmother.
 (5) The sea can be seen from that hill.
 ⑦ (1) The singer is always called Nori by young people.
 (2) The speech contest will be held next month.
 (3) Her garden is filled with beautiful flowers.
 (4) My brother was injured in the basketball game yesterday.

●
解説 ② (1) 「紙」には「木材」の形が残っていないので be made from ~ とする。

- ③ (3) 「けがをする」は be injured.
 ④ (1) 「わたしの祖母は70年前に生まれました」とする。「生まれる」 = be born
 ⑤ (2) buy は for を使う動詞。「物」だけを主語にするので some tennis balls で始める。
 ⑦ (2) 「~を開催する」は hold。未来の受動態なので will be held とする。
 (4) 「試合で」の「~で」は in で表す。

読解問題 2

→p.58~p.59

- 1 (1) エ
(2) was seen
(3) (例) 今日、歴史の試験があることを思い出したから。
(4) イ
(5) イ
- 2 (1) ウ
(2) ① 人を幸せにする
② 音楽産業で働く
(3) ア
(4) 1. His mom[mother] did.
2. She was reading a book (on art).
(5) エ

解説 1 (1) 空所の前後に「太陽[完全な環]が見えなかった」という記述があることを読みとる。

(2) 受動態は<be 動詞+過去分詞>の形。主語 the last annular solar eclipse は単数。文末に 932 years ago があるので、be 動詞は was。see の過去分詞は seen。「この前の金環食は日本で 932 年前に見られたそうです」
(5) ア「メイと健はいっしょに日食を見て楽しみました」イ「メイは 7 時 30 分ごろ金環食を見ていました」ウ「健の弟は完全な環を見たのでとても興奮していました」エ「健とメイは今日理科の試験を受ける予定です」

全訳 健：こんにちは、メイ。きみは金環食を見た？

メイ：ええ、見たわよ。わたしはそれを友達と楽しんだわ。わたしたちは 7 時 30 分ごろ、完全な環を見ることができた。あなたは？

健：それはすごかったね。7 時にくもっていたので、弟とぼくは太陽を見ることができなかった。それから少し晴れた。初めて太陽が見えたとき、もう金環になりそうだった。暗い部分が太陽の前を右から左へとてもゆっくりと動いていったよ。もう一度くもってしまったから、ぼくたちは完全な環を見ることができなかったけれど、弟はとても興奮していたよ。

メイ：この前の金環食は日本で 932 年前に見られたそうね。それは平安時代だったのよ。

健：平安時代！ ああ、たいへんだ！

メイ：どうしたの？

健：今日、歴史の試験があるのを今思い出したよ。
メイ：まあ！ 歴史の試験は金環食と同じくらい大切よね。

解説 2 (3) ア「音楽大学へ行ったらどうだい」イ「きみが弁護士になる夢をあきらめてとてもショックだよ」ウ「音楽では大したお金は稼げないよ。考え直さない！」エ「クラシック音楽のコンサートはどうだった？」

(4) 1. 「誰がピーターをコンサートへ連れて行きましたか。—彼の母親です」2. 「ピーターが図書館で会ったとき、リサは何をしていましたか。—美術の本を読んでいました」
(5) ア「ピーターはコンサートのあと、もう一度クラシック音楽を聞くつもりです」
イ「ピーターは試験の結果に落ち込んでいたが、外出しました」ウ「コンサートはピーターに将来の職業を考える機会を与えました」
エ「家に帰る途中、ピーターは美術の分野で働くことに決めました」

全訳 ピーターは高校生です。ここに彼の日記があります。

2012 年 10 月 5 日

今日、お母さんがぼくをクラシック音楽のコンサートへ連れて行ってくれました。実際、ぼくはまったく行きたくありませんでした。なぜなら期末試験の結果にとっても落ち込んでいたからです。でもぼくはとにかく行きました。それは実際に正しい決断でした。それはぼくを本当に幸せにしました！ コンサートのあと、ぼくたちは CD を借りて図書館へ行きました。ぼくはモーツァルトの有名な曲をもっと聞いてみたいと思いました。ぼくたちは図書館でリサに会いました。彼女は美術の本を読んでいました。彼女は将来、美術の分野で働くつもりだと言っていました。家へ帰る途中、ぼくは自分の将来について考えていました。1 つの考えが頭に浮かびました。「音楽には人々を幸せにする力がある。音楽産業で働くのは悪い考えではない」。夕食のあと、それについて両親に話すと、彼らは賛成し、「音楽大学へ行ったらどうだい」と言いました。ぼくはそれを聞いて本当にうれしかったです。

7 現在完了形(1)

❖ 基本問題 ❖

→p.61

- 1 (1) ウ (2) ア (3) イ (4) エ
- 2 (1) カナダに住んでいます (2) 忙しい
(3) 新しいかばんをほしがっています
(4) 横浜にいます
- 3 (1) for (2) since (3) since (4) for
- 4 (1) have not (2) has not (3) Has, studied
(4) How long

解説 1 「ずっと～している」は現在完了形で表す。<have[has]+過去分詞>を選ぶ。

- 2 (4) be 動詞には「いる」という意味がある。
- 3 過去を表す語句の前には since を、期間を表す語句の前には for を使う。
- 4 (1)(2) 現在完了形の否定文は have[has]のあとに not を置く。

❖ 標準問題 ❖

→p.62~p.63

- 1 (1) イ (2) ウ (3) ウ (4) ア
- 2 (1) have known (2) has stayed[been]
(3) been, since
- 3 (1) have studied (2) have been
(3) has been
- 4 (1) haven't seen[met]
(2) Have, been / have
(3) Has, practiced / hasn't
(4) How long has / for
- 5 (1) been (2) lived[been] (3) been[stayed]
- 6 (1) 4 日間ずっと雨が降っています。
(2) 太郎は去年から新しいコンピュータをほしがっています。
(3) ジェーンは 3 年間ずっと日本の歴史に興味をもっています。
(4) トムとボブは長い間中国語を学んでいますか。
(5) あなた(たち)のおばさんはどのくらい(の期間)アメリカに滞在していますか。
- 7 (1) have been in Hokkaido for six days
(2) My uncle has worked at that restaurant

- (3) We have not heard from Keiko for
(4) Has she been a nurse for
(5) How long have you known

解説 1 (4) last year は過去を表す語句なので since を選ぶ。

2 (3) cold は形容詞なので、「～です」は be 動詞で表す。

3 「ずっと～している」は現在完了形で表す。動詞を<have[has]+過去分詞>にする。

4 (2)(3) 現在完了形の疑問文は have[has]で文を始める。答えの文でも have[has]を使う。
(4) 「どのくらい～」と期間をたずねるのは how long。

5 (3) 「彼は 1 週間大阪にいます」という文にする。「いる」は be 動詞で表す。

6 (1) It has been rainy. は It is rainy. 「雨が降っている」の現在完了形。

7 (3) 「～から手紙をもらう」= hear from ～

❖ 発展問題 ❖

→p.64~p.65

- 1 (1) エ (2) ウ (3) イ
- 2 (1) been[stayed], since (2) has been, since
(3) hasn't rained (4) have passed
- 3 (1) have played it since
(2) have been good friends for
(3) years have you lived in
- 4 (1) イ written (2) ウ for
- 5 (1) have known each other for twelve years
(2) has been a member of the baseball team for three years
(3) I haven't seen you for a long time.
(4) Have you wanted this dictionary since last month?
(5) How long has it been fine since that day?
- 6 (1) Beth has been[stayed] in the park since this morning.
(2) He has been absent from school since last Thursday.
(3) Emi's father has been a math teacher for twenty[20] years.
(4) I haven't[have not] heard[got /